

## 令和2年度 経営協議会学外委員からの意見に対する対応状況

	経営協議会等	学外委員からの意見	本学の対応状況
1	第 99 回経営協議会 (R2. 5. 29 開催)	文部科学省で制度設計している“大学等連携推進法人”の認定については、進んでいない状況であるが、今後、中央教育審議会において、関係法令の整備が予定されている。また、第 4 期中期目標・中期計画期間に向けて、国立大学法人の役割、評価方法、重点的改革などの検討が進められている。	令和 3 年 3 月 29 日付けで、文部科学大臣より、全国初となる大学等連携推進法人の認定を受けた。 第 4 期中期目標（素案）を、学長ビジョン（案）を踏まえ設定し、第 4 期中期計画の策定作業を進めているところである。
2	第 102 回経営協議会 (R2. 11. 25 開催)	地域大学連携推進センターが中核となって、山梨県内の大学・企業等と連携していくにあたり、同センターはある程度独立した形態で、外部資金等を獲得して運営を行っていく予定か。	地域大学連携推進センターは、まずは山梨県立大学と本学の連携事業を中心に推進していく予定である。 本学と山梨県立大学は、共同して大学アライアンスやまなしを設立したので、山梨県とも一体となって発展していけるよう事業を推進していきたい。 また、外部資金等の獲得による運営体制の確立については、将来的な課題として検討していきたい。
3	第 102 回経営協議会 (R2. 11. 25 開催)	地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）の一環として開催していた「やまなし地方創生会議」について、今後も山梨県内の大学等の対話の場所として期待したい。	「やまなし地方創生会議」の役割については、国立大学経営改革促進事業に引き継ぎ、山梨県内の高等教育を更に発展させていく計画である。
4	第 102 回経営協議会 (R2. 11. 25 開催)	外部資金を教育資金として活用していくことにより、研究資金も獲得できるような活動となるよう検討願いたい。	山梨県内のリソース等を活用して、新たな事業を発掘・発展させていきたい。

5	第103回経営協議会 (R3.1.22開催)	地域人材養成センターの設置による今後の地域経済の発展に期待をしている。そのためにも、山梨県の行政及び県経済界との連携を更に深めていってほしい。	<p>「(一社)大学アライアンスやまなし」には、山梨県や経済界から理事として参画していただき連携事業を実施している。地域人材養成センターに業務を集約して連携の強化を図り、職員採用など人材の面でも山梨県や経済界から協力いただけることを期待している。</p> <p>また、山梨県内の大学間相互の連携による多様な交流機会の提供等を目的とした「NPO法人大学コンソーシアムやまなし」や、地域の発展を担う人材の育成、若者の県内定着促進を大学・自治体・企業等が一体となって協議する「やまなし地方創生会議」との連携を密にしていきたい。</p>
6	第104回経営協議会 (R3.3.19開催)	新型コロナウイルス感染症の対応で、岐阜県内の事例であるが、救急患者等が一般病棟で新型コロナウイルス感染症を発症した場合、感染を食い止めることは困難であった。	本学附属病院では、救急受入患者の対応に注意し、PCR検査などを実施している。現在までは、一般病棟で新型コロナウイルス感染症の発生(院内感染)はないが、今後も慎重に対応したい。